

# うきは市ゼロカーボンビジョン

## 実施状況報告（令和4年度実績）

令和6年（2024）年3月

うきは市

## 1. 作成趣旨

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第15項に基づき、毎年1回、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施状況を公表することが義務づけられています。

うきは市においては、令和5年3月に策定した「うきは市ゼロカーボンビジョン」を地方公共団体実行計画に位置付けています。

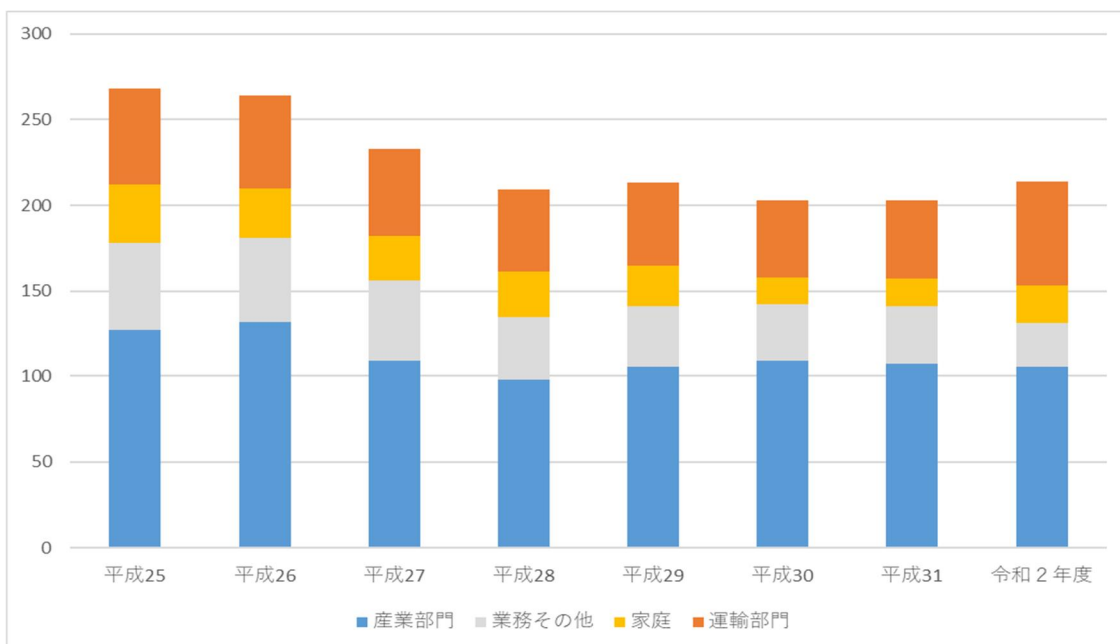
## 2. 区域施策編の状況

### ア. うきは市温室効果ガス排出量の推移

単位：千t-CO<sub>2</sub>

	平成25 (2013)年度	平成26 (2014)年度	平成27 (2015)年度	平成28 (2016)年度	平成29 (2017)年度	平成30 (2018)年度	平成31 (2019)年度	令和2年度 (2020)年度
<b>産業部門</b>	127	132	109	98	105	109	107	105
農林水産業	4	8	8	8	8	7	7	7
建設業・鉱業	3	3	3	2	2	2	2	1
製造業	120	121	98	88	95	100	98	97
<b>民生部門</b>	85	78	73	63	60	49	50	48
業務その他	51	49	47	37	36	33	34	26
家庭	34	29	26	26	24	16	16	22
<b>運輸部門</b>	56	54	51	48	48	45	46	61
自動車（旅客）	16	14	13	11	12	11	12	26
自動車（貨物）	37	37	36	35	34	33	33	33
鉄道	3	3	2	2	2	1	1	2
廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>合計</b>	268	264	233	209	213	203	203	214

出典：平成25年～31年度うきは市ゼロカーボンビジョン  
令和2年度環境省 自治体排出量カルテ



## イ. 再生可能エネルギーの導入量 (FIT 制度)

単位：kW

		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4
		(2014) 年度	(2015) 年度	(2016) 年度	(2017) 年度	(2018) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
太陽光 発電	10kW未満	4,748	5,196	5,497	5,878	6,218	6,437	6,690	6,928	7,204
	10kW以上	10,896	13,558	14,414	15,143	15,624	17,251	19,836	21,755	22,205
風力発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水力発電		0	0	0	162	162	170	170	590	590
地熱発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		15,644	18,754	19,911	21,183	22,004	23,858	26,696	29,273	29,999

## ウ. 再生可能エネルギーの発電電力量 (FIT 制度)

単位：MW h

		平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4
		(2014) 年度	(2015) 年度	(2016) 年度	(2017) 年度	(2018) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
太陽光 発電	10kW未満	5,698	6,235	6,597	7,054	7,463	7,725	8,029	8,315	8,646
	10kW以上	14,413	17,934	19,066	20,031	20,667	22,819	26,239	28,776	29,371
風力発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水力発電		0	0	0	851	851	894	894	3,101	3,101
地熱発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		20,111	24,169	25,663	27,936	28,981	31,438	35,162	40,192	41,118
区域の電気使用量		157,014	143,763	144,575	147,596	142,458	139,262	147,670	147,670	147,670
対消費電力FIT導入比		12.8%	16.8%	17.8%	18.9%	20.3%	22.6%	23.8%	27.2%	27.8%

### 3. 事務事業編の状況

#### ア. うきは市事務事業に伴う温室効果ガス排出量の推移

単位：t-CO<sub>2</sub>

排出源			温室効果ガス排出量									
			平成25（2013）年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
			（基準年度）		（2019）年度		（2020）年度		（2021）年度		（2022）年度	
			排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合	排出量	全体に占める割合
エネルギー起源	CO <sub>2</sub>	電気	4,519	86.9%	2,774	84.6%	2,620	87.9%	3,383	89.3%	2,331	85.1%
		ガソリン	182	3.5%	158	4.8%	109	3.6%	111	2.9%	122	4.5%
		灯油	299	5.8%	218	6.6%	110	3.7%	159	4.2%	144	5.3%
		軽油	0	0.0%	0	0.0%	16	1.0%	14	0.4%	27	1.0%
		A重油	80	1.5%	3	0.1%	13	0.4%	5	0.1%	4	0.1%
		ガス	120	2.3%	125	3.8%	114	3.8%	116	3.1%	111	4.1%
		総計	5,201	100.0%	3,279	100.0%	2,982	100.0%	3,789	100.0%	2,739	100.0%
平成25（2013）年度比			100.0%		63.0%		57.3%		72.9%		52.7%	
平成25（2013）年度比			0.0%		▲37.0%		▲42.7%		▲27.1%		▲47.3%	
基準の削減量												

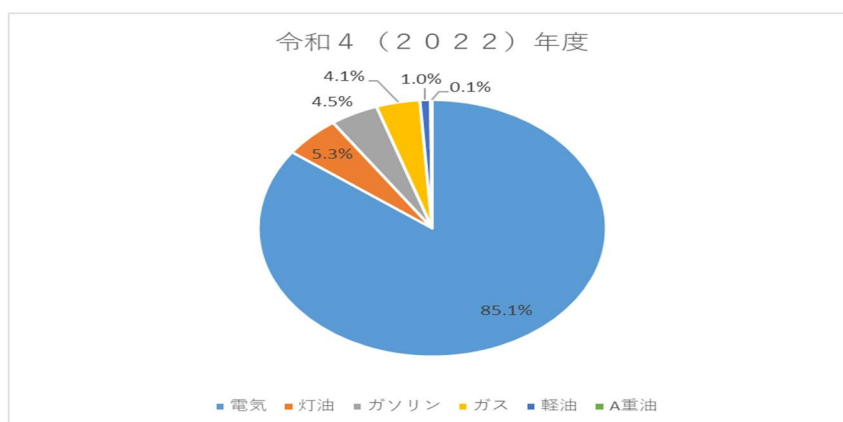
※表中の数値は、単数処理により合計値と一致しない場合があります。

◇うきは市の事務事業に伴う温室効果ガス排出量は、2,739t-CO<sub>2</sub>です。

◇基準年度である平成25年度（2013年度）と比較すると47.3%減少しています。

◇主な減少要因は、全体に占める割合が大きな電気について、各電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数が大きく下がってきていることが考えられます。

#### イ. 市有施設の排出源（エネルギー起源）ごとのCO<sub>2</sub>排出量割合

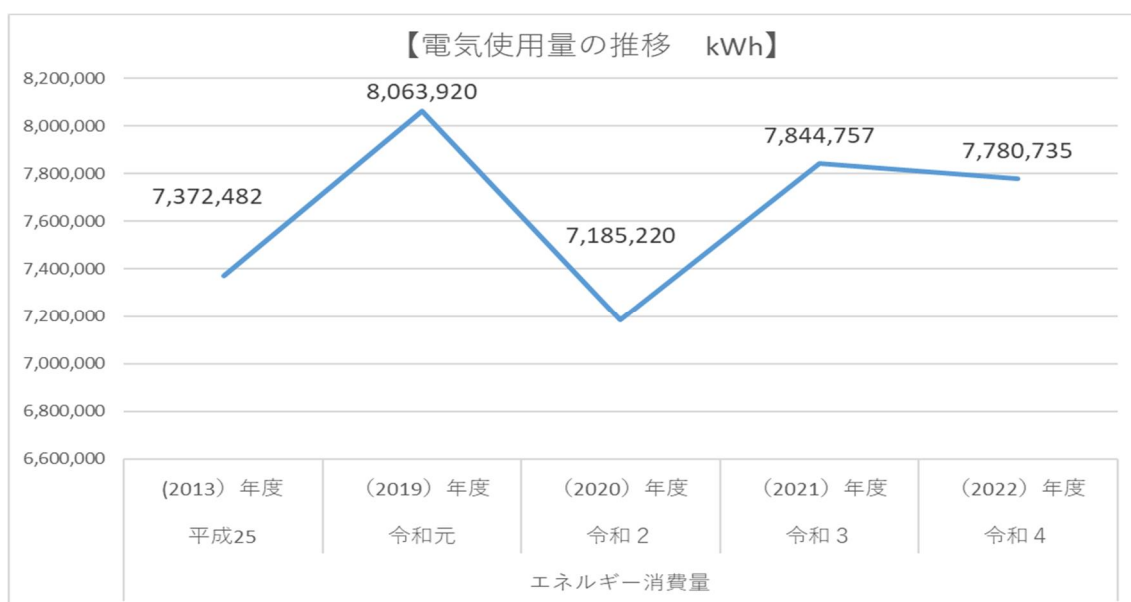


◇令和4年度では、エネルギー使用量（二酸化炭素換算）の85.1%を電気が占めています。

【排出源ごとのエネルギー消費量の推移】

排出源			単位	エネルギー消費量				
				平成25	令和元	令和2	令和3	令和4
				(2013) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
エネルギー 起源	CO <sub>2</sub>	電気	kWh	7,372,482	8,063,920	7,185,220	7,844,757	7,780,735
		ガソリン	L	78,259	68,283	46,822	38,633	52,605
		灯油	L	120,201	87,352	44,225	63,966	57,807
		軽油	L	0	0	6,218	5,560	10,455
		A重油	L	29,606	1,291	4,700	2,000	15,000
		ガス	m <sup>3</sup>	18,365	19,157	17,487	17,723	16,985

温室効果ガスの主な排出源となっている電気については、以下のグラフのとおり、基準年度と比較して増加傾向にあり、令和3年度と比較すると横ばいとなっています。



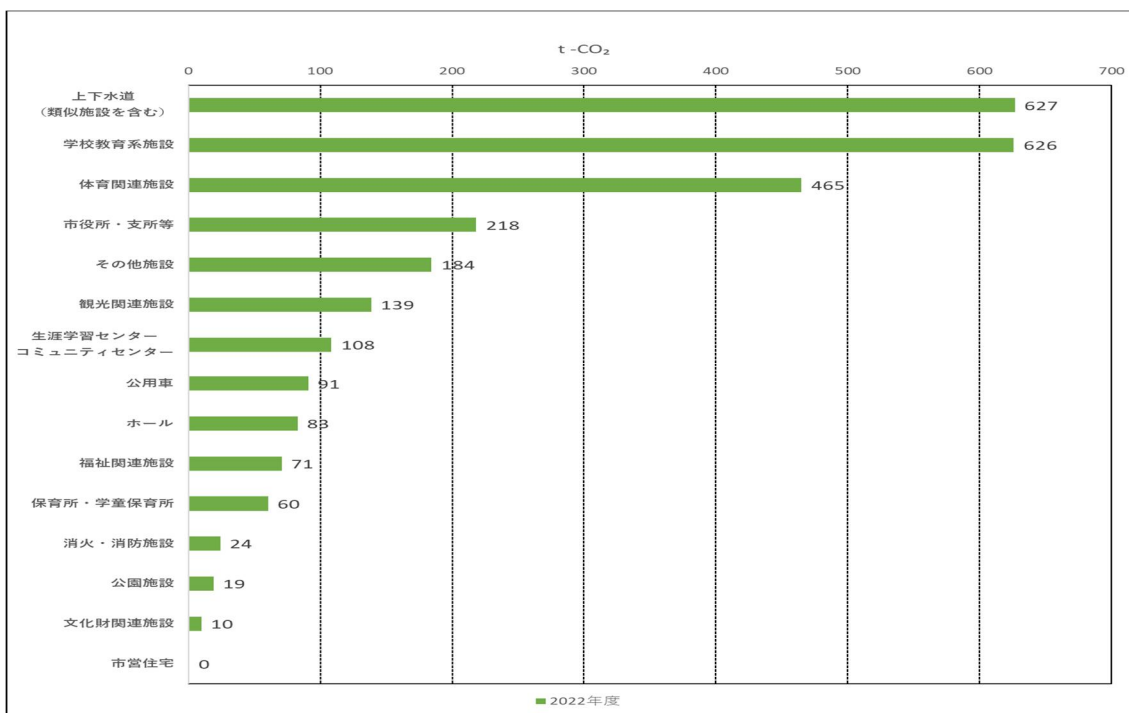
【電力会社基礎排出係数の推移】

基礎排出係数の推移	単位	平成25	令和元	令和2	令和3	令和4
		(2013) 年度	(2019) 年度	(2020) 年度	(2021) 年度	(2022) 年度
九州電力(株)	kgCO <sub>2</sub> /kWh	0.613	0.344	0.365 (~12月まで)		0.407 (5月~)
(株)F-Power	kgCO <sub>2</sub> /kWh			0.477 (1月~)	0.477 (~12月まで)	
(株)ウエスト電力	kgCO <sub>2</sub> /kWh				0.392 (1月~)	0.392 (~4月まで)

※主要公共施設（24施設）の契約電力会社の排出係数

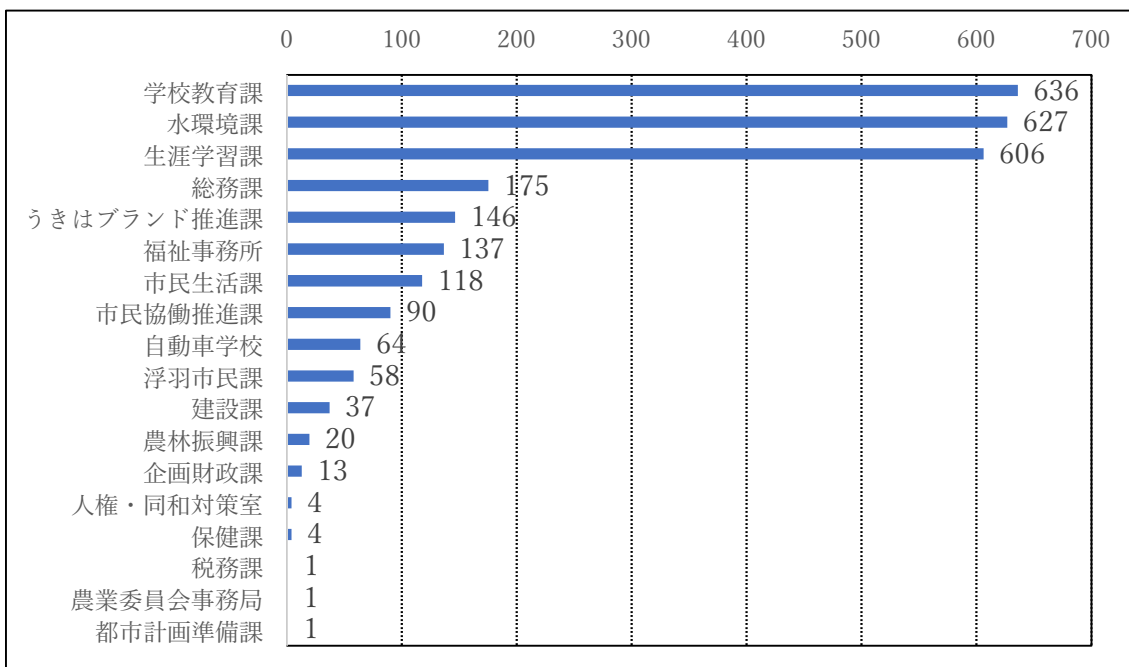
ウ. 令和4（2022）年度における温室効果ガス排出量の施設分類別内訳

単位：t-CO<sub>2</sub>



エ. 令和4（2022）年度における温室効果ガス排出量の各部署別内訳

単位：t-CO<sub>2</sub>



◇排出量が多い箇所に共通している点は、施設を所管する部署が上位を占めています。

◇令和6年度以降については、施設の省エネ化、ZEB化等を進める事で、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けて取組を進める必要があります。

#### 4. 令和4年度主な取組

●地域再生可能エネルギー導入目標策定業務

- ・うきは市ゼロカーボンビジョンの策定 R5年3月策定  
(地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく地方公共団体実行計画として位置付け)

●地域エネルギープロジェクト可能性調査業務

- ・エネルギー需要の大きい「うきはアリーナ」、防災道の駅として整備中の「道の駅うきは」、建て替え計画のある「西隈上団地」の3地区において、分散型のエネルギーインフラ整備を検討
- ・地域の再エネ電源等を活用した地域経済循環事業スキーム等の検討
- ・市が有する遊休地等を活用した発電事業の検討